

キトサンオリゴ糖のヒト試験の御紹介

キトサンオリゴ糖のヒト試験として、次のような試験報告があります！

口腔ケア

健康な男女50名を用いたプラセボとの二重盲検交差試験

コーヨーオリゴグルコサミン
(キトサンオリゴ糖)使用

試験方法

朝食後のハミガキをした2時間後に試験前の唾液採取。
キトサンオリゴ糖配合ガム群、プラセボガム群とも、ガムを5分噛む、5分休憩の繰り返しを8回行った後、0分、30分、60分後の唾液を回収し、唾液中の細菌数を測定した。

結果

キトサンオリゴ糖配合ガム群にて、有意に唾液中の細菌数が減り、特にミュータンス連鎖球菌への作用が強かった。

口腔内の細菌数を減らす！

Hayashi Y. et al., Archives of Oral Biology, 52,290-294 (2007)

NK細胞活性化作用

健康な男女15名を用いたプラセボとの二重盲検交差試験

甲陽ケミカルも共同研究者として実施した臨床試験

試験方法

試験前夜から試験終了まで飲食、睡眠を含めた行動、環境において同一条件下で実施。

キトサンオリゴ糖摂取群(1000mg/回)とプラセボ群とも、試験品摂取前、摂取3時間後、6時間後、9時間後に採血をし、NK細胞活性値を測定した。

結果

プラセボ群に比べ、キトサンオリゴ糖摂取群にてNK細胞活性値が高くなり、摂取6時間後には有意に高くなった。

NK細胞の活性を高める！

梶本ら,日本臨床栄養学会雑誌, 21(1),41-47 (1999)

コレステロール低下作用

健康な男性24名(喫煙者12名、非喫煙者12名)を用いた非対照試験

試験方法

被験者(喫煙者、非喫煙者)にキトサンオリゴ糖(1000mg/日)を6週間摂取させ、血漿中のLDLコレステロール、総コレステロール等を測定した。

結果

喫煙者、非喫煙者とも、キトサンオリゴ糖の摂取にて、摂取前に比べて、LDLコレステロールと総コレステロールが有意に低下した。

コレステロールを下げる！

Choi CR. et al., Int J Food Sci Nutr,63(1),103-106 (2012)

血糖値上昇抑制作用

空腹時血糖値又は75gOGTT(経口ブドウ糖負荷試験)が境界域の男女60名を用いたプラセボとの二重盲検試験

試験方法

キトサンオリゴ糖摂取群(1500mg/日)とプラセボ群に試験食を12週間摂取させ、摂取前後の75gOGTTによる血糖値の変化等を測定した。

結果

キトサンオリゴ糖摂取群にて、摂取前に比べて75g OGTTでの30分、60分後の血糖値が有意に低下し、60分後ではプラセボ群との比較でも有意に低かった。

食後の血糖値上昇を抑制する！

Kim HJ. et al., Food Funct,5,2662-2669 (2014)

キトサンオリゴ糖で、一緒に商品化を目指しませんか？



甲陽ケミカル株式会社
<http://www.koyochemical.jp/>

東京：〒101-0005 東京都千代田区神田小川町1-10-3 TEL：03-5244-4235/FAX：03-5244-4236
大阪：〒530-0051 大阪市北区太融寺町1-17-9F TEL：06-6365-1666/FAX：06-6365-1757
境港：〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地217 TEL：0859-45-3086/FAX：0859-45-3087

※形式を問わず、本紙の内容を当社の許可なく改変、複製または転載することを禁じます。